

7 全会計の貸借対照表

普通会計に加えて、競輪事業、国民健康保険事業等の普通会計外の特別会計や企業会計を連結し、市全体の資産と負債の状況を表したもので、本市全体でどれだけの資産と負債を有しているかを把握することができます。

(1) 試算結果について (詳細については、29頁参照)

資産合計 5兆 8,471億円	負債合計 1兆 6,501億円 (資産合計の28.2%)
	純資産合計 4兆 1,970億円 (資産合計の71.8%)

(2) 普通会計との比較

項目	全会計 A	普通会計 B	A ÷ B
資産合計	5兆 8,471億円	4兆 6,664億円	1.25倍
負債合計	1兆 6,501億円	1兆 510億円	1.57倍
純資産合計	4兆 1,970億円	3兆 6,154億円	1.16倍

全会計を普通会計と比較して見ると、負債合計の倍率が他の項目と比較して大きくなっていますが、これは公営企業会計で負債合計の比率が高いことによるものです。

(3) 市民1人あたりの貸借対照表

項目	全会計	普通会計
資産合計	430万 2千円	343万 4千円
負債合計	121万 4千円	77万 3千円
純資産合計	308万 8千円	266万 1千円

市民1人あたりでは、資産合計は430万2千円、負債合計は121万4千円となり、その結果、純資産合計は308万8千円となっています。

川崎市貸借対照表(全会計)
(平成 21年 3月 31日現在)

(単位:千円)

借 方	貸 方
[資産の部]	[負債の部]
1 公共資産	1 固定負債
(1) 有形固定資産	(1) 地方債
生活イワラ 国土保全 3,875,149,145	普通会計地方債 832,171,621
教育 822,458,369	公営事業地方債 510,171,294
福祉 93,646,338	地方債計 1,342,342,915
環境衛生 453,307,645	(2) 長期未払金 6,613,502
産業振興 74,280,439	(3) 引当金 96,642,767
消防 36,474,237	(うち退職手当等引当金) 90,970,723
総務 140,635,418	(うちその他の引当金) 5,672,044
収益事業 8,373,503	(4) その他 0
その他 0	固定負債合計 1,445,599,184
有形固定資産計 5,504,325,094	
(2) 無形固定資産 5,104,291	2 流動負債
(3) 売却可能資産 9,510,733	(1) 翌年度償還予定地方債 156,476,673
公共資産合計 5,518,940,118	(2) 短期借入金 (翌年度繰上充用金を含む) 0
	(3) 未払金 20,407,007
2 投資等	(4) 翌年度支払予定退職手当 17,154,050
(1) 投資及び出資金 48,078,541	(5) 賞与引当金 8,206,021
(2) 貸付金 22,884,526	(6) その他 2,240,000
(3) 基金等 46,208,873	流動負債合計 204,483,751
(4) 長期延滞債権 21,020,694	
(5) その他 16,531,135	負 債 合 計 1,650,082,935
(6) 回収不能見込額 2,323,105	
投資等合計 152,400,664	
3 流動資産	純 資 産 合 計 4,197,020,948
(1) 資金 44,933,637	
(2) 未収金 23,416,936	
(3) 販売用不動産 0	
(4) その他 108,834,337	
(5) 回収不能見込額 1,421,809	
流動資産合計 175,763,101	
4 繰延勘定 0	
資 産 合 計 5,847,103,883	負 債 及 び 純 資 産 合 計 5,847,103,883

参考]

1 前年度の試算結果との比較

資産合計は、前年度比482億円の増、負債合計は5億円の増、純資産合計は477億円の増となっています。

また、資産合計に占める純資産合計の割合は、71.8% (前年度は71.6%) となっています。

平成19年度の数値は普通会計の金額を「総務省方式改訂モデル」に修正

項 目	平成20年度 A	平成19年度 B	A-B
資 産 合 計	5兆 8,471億円	5兆 7,989億円	482億円
公 共 資 産	5兆 5,189 億円	5兆 4,941 億円	248億円
投 資 等	1,524 億円	1,702 億円	178億円
流 動 資 産	1,758 億円	1,345 億円	413億円
繰 延 勘 定	-	-	-
負 債 合 計	1兆 6,501 億円 (資産合計に占める割合 28.2%)	1兆 6,496 億円 (資産合計に占める割合 28.4%)	5億円
固 定 負 債	1兆 4,456 億円	1兆 4,580 億円	124億円
流 動 負 債	2,045 億円	1,916 億円	129億円
純 資 産 合 計	4兆 1,970億円 (資産合計に占める割合 71.8%)	4兆 1,493億円 (資産合計に占める割合 71.6%)	477億円

市民1人あたりでは、資産合計は前年度比2万8千円の減、負債合計は1万8千円の減、純資産合計は1万円の減となっています。

(市民1人あたりの貸借対照表)

項 目	平成20年度 A	平成19年度 B	A-B
資 産 合 計	430万2千円	433万円	2万8千円
負 債 合 計	121万4千円	123万2千円	1万8千円
純 資 産 合 計	308万8千円	309万8千円	1万円

2 公共資産の形成における世代間負担率

公共資産の形成における世代間負担率をみると、これまでの世代により既に負担された割合は、平成20年度で76%と前年度と比較して0.5ポイントの増となっています。

(単位 億円)

	平成20年度	平成19年度
公共資産合計 A	5兆 5,189 億円	5兆 4,941 億円
純資産資産合計 B	4兆 1,970 億円	4兆 1,493 億円
B ÷ A	76.0%	75.5%

3 主な施設の状況

(単位 億円)

施設名	年度	取得価額	減価償却 累計額	残存価額
養護老人ホーム 恵楽園	平成4年度	26	17	9
特別養護老人ホーム 多摩川の里及び多摩川の里身体障害者福祉会館	平成5年度	30	18	12
特別養護老人ホーム すみよし	平成5年度	26	16	10
国際交流センター	平成6年度	53	30	23
看護短期大学	平成6年度	57	16	41
とどろきアリーナ	平成7年度	144	37	107
浮島処理センター	平成7年度	450	234	216
多摩区総合庁舎	平成8年度	178	43	135
高津スポーツセンター	平成9年度	22	5	17
小田小学校	平成10年度	30	6	24
岡本太郎美術館	平成11年度	68	12	56
消防局総合庁舎	平成13年度	46	7	39
日吉出張所、日吉健康ランチ、幸市民館日吉分館、幸図書館日吉分館	平成14年度	17	2	15
川崎シンフォニーホール	平成15年度	159	32	127
かわさき南部斎苑	平成15年度	60	12	48
橘小学校	平成16年度	28	2	26
宮前スポーツセンター	平成17年度	17	1	16
橘中学校	平成18年度	23	1	22
中原消防署	平成19年度	18	1	17
東門前小学校	平成19年度	24	1	23
小倉北市営住宅	平成18～20年度	17	1	16
古市場市営住宅	平成19～20年度	21	1	20
中原市民館	平成20年度	31	0	31
東生田小学校	平成20年度	26	0	26
川崎病院	平成10～20年度	439	201	238
多摩病院	平成14～20年度	249	49	200

企業会計である病院の取得価額は平成20年度までに取得した医療機器等を含む